

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		先端技術利活用実践 Practice of Frontier Technology Application				担当者所属・ 職名・氏名		経営管理大学院 特定教授 前川 佳一 経営管理大学院 特定教授 藤田 哲雄			
配当 学年	1回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2022・ 通年集中	曜時限	水(水), 木(木) 11時30分-12時15分	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
授業種別		情報学研究科が開設するその他の科目									
【授業の概要・目的】											
<p>先端技術利活用実践（AI技術利活用実践） AI technology utilization practice</p> <p>世界がデジタル化に向けてスピードを加速させていくなかで、AIを代表とする先端技術も凄まじいスピードで進化を遂げている。このような世界において、いかに新しい技術に触れ、それを使いこなしていくかは、これからのビジネスパーソンにとって重要な要素である。そこで本講義では、AIのような新しい技術をいかにビジネスに活用していくかを、手法や意識しておくべきマインドセットと共に実践形式で学びながら習得する。また、それと同時に、先端技術の動向について、現在のトレンドと今後の展望を掴む。</p> <p>【情報学ビジネス実践プログラム科目】協力企業(ANAシステムズ、NTTデータ、DMG森精機、東京海上日動火災保険、三井住友銀行・日本総合研究所、日本電気)と設立した「情報学ビジネス実践講座」にて行う「イノベーション先端ITコース」の科目であり、本コースは産業界でイノベーションをリードするための先端のITを学ぶことが可能。詳細は講座ホームページ（https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/）参照</p>											
【到達目標】											
AIに代表される先端技術を活用するサービスのアイデアを考え、実現の仕方まで経験することを目指す。											
【授業計画と内容】											
2日間の集中講義予定（2020年度実績）											
<p>(1) 先端技術概要 AIを中心とした様々な先端技術を紹介する。</p> <p>(2) AIサービス開発のWhyとWhat AIサービスのデザイン手法を学ぶ。具体的には、リーンキャンバスやペルソナ、カスタマージャーニーマップ、ユーザーストーリーマッピングなどを通し、ビジネスとしてサービスを成立させるためのデザイン手法を習得する。</p> <p>(3) AIサービスワークショップ 10年後の社会とそこでのAIの使われ方を、シナリオプランニングという手法で考える。</p> <p>(4) AIサービス開発のHow AIを使ったサービスの開発の仕方について、アジャイル開発を例に学習する。</p> <p>(5) AIハンズオン 国内で大きなシェアを持つSNSアプリ上でのチャットボット開発や、AIのチューニング体験を通して、どのようにAIサービスが作られているのかを学ぶ。</p> <p>(6) AIの課題と今後</p>											
----- 先端技術利活用実践 (2)へ続く -----											

先端技術利活用実践 (2)

AIの課題と今後の展望について学ぶ。

非常勤講師のNTTデータ 大西 壮輝氏は、DXを推進する為の研究開発やデジタル技術を応用したサービス創出に関する戦略検討を担う。

【履修要件】

受講人数を制限することがあります。その場合、情報学ビジネス実践講座プログラム(<http://www.pib.i.kyoto-u.ac.jp/>)登録者を優先します。

【成績評価の方法・観点】

講義でのディスカッション等への貢献度、プレゼンテーション等の内容、講義終了後に提出されるレポートにより総合的に判断する。

【教科書】

使用しない
特に定めない。必要な資料は講義において配布する。

【参考書等】

(参考書)
授業中に紹介する
(関連URL)
<https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/>(情報学ビジネス実践講座)

【授業外学修(予習・復習)等】

受講に際し情報やITに関する特別の知識は必須ではないが、講義の効果を高めるため事前予習を課す場合がある。

(その他(オフィスアワー等))

事前にアポイントメントをとること。
maegawa.yoshikazu.5m@kyoto-u.ac.jp
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。